

# 来幸の風

No.9  
2021年9月号



## 検診管理課活動 職域ワクチン接種

検診管理課では、疾病の早期発見、早期治療を目指し、院内、出張検診をメインに労働基準法に基づく定期健康診断、人間ドック、市のがん検診、予防接種等様々な予防活動を行っております。

コロナ過で緊急事態宣言の発動に伴い、健診業務に制限がかかり、毎年来て頂いている受診者も病院内での健康診断を避け受診者数が減少しました。何かできることがないかと模索していた矢先、政府よりコロナワクチン接種の加速化を目的として職域接種実施の報道があり、6月8日より申請受付を開始するとのことでした。

検診管理課として、**社会貢献と病院経営への貢献の絶好の機会**だと考え、企業担当者他、様々なルートから伝手を頼り、営業活動を行いました。企業担当者も不安の募る中、6月8日の週には申請を行って頂き、**計6社約2万人接種**という想像以上の規模の接種契約を結ぶことができました。

スタッフ確保に  
苦慮しました

6社の企業は、モデルナワクチンが供給されるまでは順調でしたが、その後は困難の連続でした。まずスタッフの確保が最優先課題でした。医師、看護師、事務スタッフ、1日500の接種を実施する為には、医師2名、看護師4名、事務スタッフが最低8名必要となり、その確保に苦慮しました。



タイミングを逃さずは大切

\*余談になりますが、判断に時間を要し翌週に申請を行った企業では、モデルナのワクチンが供給不足となり申請が休止され希望しても接種ができない企業が多数あったようです。



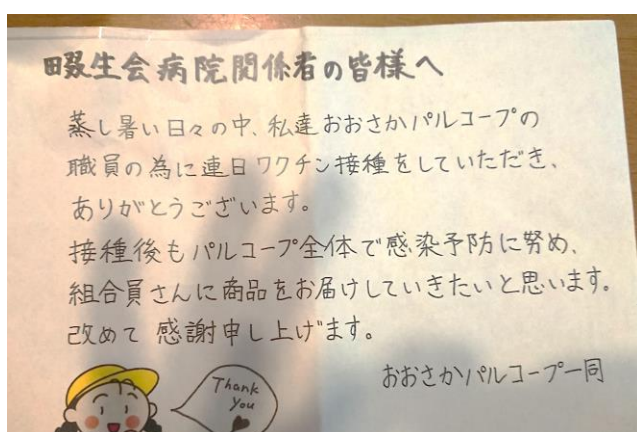
## One Team での職域ワクチン接種活動

事前打合せ、会場設営、接種日時の調整、接種後の副反応時の対応、リハーサルを実施し課題が見つかったら改善を繰り返しました。6月8日の申請日からあっという間に7月3日の初日を迎え、9月2日まで、土日、祝日も含め、出務日数は50日。朝早くからの準備に夜遅くまでの片づけ・・・

巷では、冷蔵庫の故障で薬液の使用不可！薬液に異物が混入接種見合わせ等の報道で、気が休まらない日が続きましたが、**医局、看護部、事務部で信愛会がワンチーム**となり、大きなトラブルもなく無事に終わることができました。



今回の職域接種で普段お付き合いがなかった大企業の担当者から『**暇生会病院のスタッフは親切、迅速かつ丁寧で安心して任せられました。今後、職域接種以外の仕事でも是非お任せしたいです**』と嬉しいお褒めのお言葉を頂き、2ヶ月間の忙しい日々が報われた気がしました。こうした評価を頂いたのも現場にお越し頂いた全てのスタッフが、日常の病院業務とは別の職域接種の慣れない現場でも御自身の仕事を全うして頂いたお陰です。職域接種にご協力頂いた皆様には、この場をお借りして**心から感謝申し上げます**。



パルコープ様から提供いただいたおいしいお弁当に添えられた心温まるメッセージ

### すべては受診者の為に

病院経営にも貢献でき、企業からの信頼も今まで以上に厚くなり検診管理課としては、今後の業務拡大に計り知れないプラスとなりました。全ては**“受診者の為に”**をモットーに今後も予防医学の重要性を広めつつ、困難な業務にも誠心誠意、努めてまいります。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。

# 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

大阪府では、令和2年5月5日に開催した「第15回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議」にて、感染拡大・収束状況を判断するための独自指標・基準となる「大阪モデル」を作成し、指標の状況を日々モニタリング、「見える化」しています。  
9月20日現在も、まだ、赤信号のままです（涙）

## 新型コロナウイルス感染症 大阪モデル モニタリング指標の状況

【モニタリング指標ごとの状況】

区分	モニタリング指標	警戒の目安	非常事態の目安	非常事態解除の目安	警戒解除の目安	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
感染状況	分科会指標 ①直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	15人以上※ (約189人/日)	25人以上※ (約315人/日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療提供体制	分科会指標 ②病床使用率 重症・軽症中等症ともに確保病床数	20%以上	50%以上	7日間連続 50%未満	7日間連続 20%未満	●	●	●	●	●	●	●
	独自指標 ③重症病床使用率 一般医療と両立可能な確保病床数を分母として算出	20%以上	60%以上	7日間連続 60%未満	7日間連続 20%未満	●	●	●	●	●	●	●
信号（一定期間点灯させた後、消灯）		上記いずれかが目安に達した場合黄	上記いずれかが目安に達した場合赤	上記全てが目安に達した場合黄	上記全てが目安に達した場合緑	赤	赤	赤	赤	赤	赤	赤

○：基準内 ●：基準外

【参考指標の状況】

医療提供体制等	①軽症中等症病床使用率	②宿泊療養施設部屋数使用率	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
	—	—	64.5%	59.8%	57.6%	55.8%	53.5%	56.5%	59.0%
	—	—	38.7%	36.1%	33.0%	29.3%	26.6%	23.6%	21.5%

※ 感染状況の指標については、ワクチン接種状況を踏まえ、適宜見直しを検討する。

患者受入重症病床使用率については、病床確保計画に定めたフェーズ3「一般医療と両立可能な確保病床数」を分母とする。  
(6/18 第53回対策本部会議にて決定)

国より、緊急事態措置又はまん延防止等重点措置適用区域に指定・解除される場合は、対策本部会議を開催し、ステージ移行の要否を決定するものとする。(6/18 第53回対策本部会議にて決定)

## 感染拡大の兆候を感知するための見張り番指標

区分	見張り番指標	目安	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	兆候の探知
若年層の増加傾向 (今後1週間から2週間の感染拡大の兆候)	20・30代新規陽性者数7日間移動平均	概ね30人以上	479.86	432.29	397.29	359.00	323.71	287.57	274.29	左記の全ての指標が目安を満たした場合
	20・30代新規陽性者数7日間移動平均前日比	4日連続1を超過	0.92	0.90	0.92	0.90	0.90	0.89	0.95	

最新情報は、こちらです



<https://covid19-osaka.info/>

## 入院・療養状況

9月20日現在	重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
<b>利用率</b> (入院・宿泊療養者数／確保病床・部屋数)	<b>33.6%</b> (203/605 (※1)(※2))	<b>59.0%</b> (1626/2758 (※2))	<b>21.5%</b> (1805/8408)
<b>運用率</b> (入院・宿泊療養者数／実運用病床・部屋数)	<b>46.3%</b> (203/438 (※2))	<b>59.1%</b> (1626/2753 (※2))	<b>21.5%</b> (1805/8408)

※1 病床確保計画に定めたフェーズ5「災害級非常事態（一般医療に制限のかかる状況）」における病床数。一般医療と両立可能な数は、フェーズ3における病床数。

※2 運用病床数が病床確保計画の確保病床数を上回った場合、確保病床数を運用病床数と読み替える。

※ 重症病床には、大阪コロナ重症センター2施設の病床数・入院者数を含む。

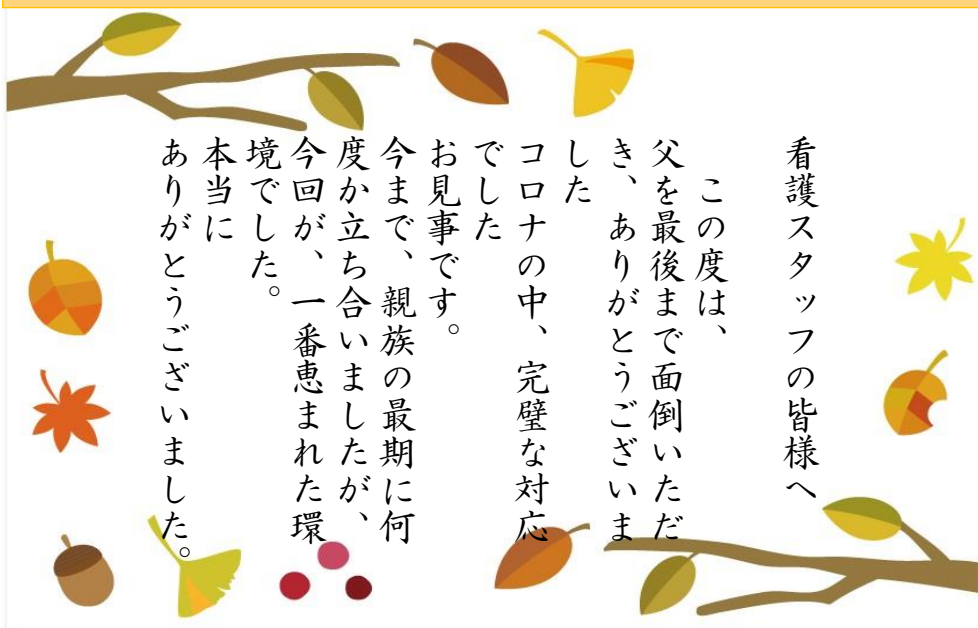
## 四條畷市の新規感染者数の動向

四條畷市 直近1週間の人口10万人あたり新規報告者数(当月)			四條畷市 直近1週間の人口10万人あたり新規報告者数(当月)		
月日	四條畷市	大阪府	月日	四條畷市	大阪府
令和3年9月19日	27.01	59.90	令和3年9月11日	59.43	118.72
令和3年9月18日	27.01	67.61	令和3年9月10日	81.04	131.08
令和3年9月17日	21.61	74.38	令和3年9月9日	91.85	142.35
令和3年9月16日	21.61	80.90	令和3年9月8日	102.65	153.86
令和3年9月15日	27.01	88.04	令和3年9月7日	108.06	165.11
令和3年9月14日	36.02	97.71	令和3年9月6日	124.27	173.02
令和3年9月13日	34.22	105.74	令和3年9月5日	142.28	180.75
令和3年9月12日	43.22	111.09	令和3年9月4日	138.67	187.20

四條畷市では、感染状況について、めやすの一つとして、直近1週間の人口10万人あたりの新規に感染した報告者数を国や大阪府の共通の指標を用いて比較しています。

大阪府 四條畷市役所HPより

## コロナで看取りをさせていただいた患者様のご家族から 感謝のメッセージをいただきました



看護スタッフの皆様へ

看護だけでなく、多くのかかわるスタッフの皆様が頑張っていたいているおかげです。このようにメッセージいただくと、心に響きますね♡

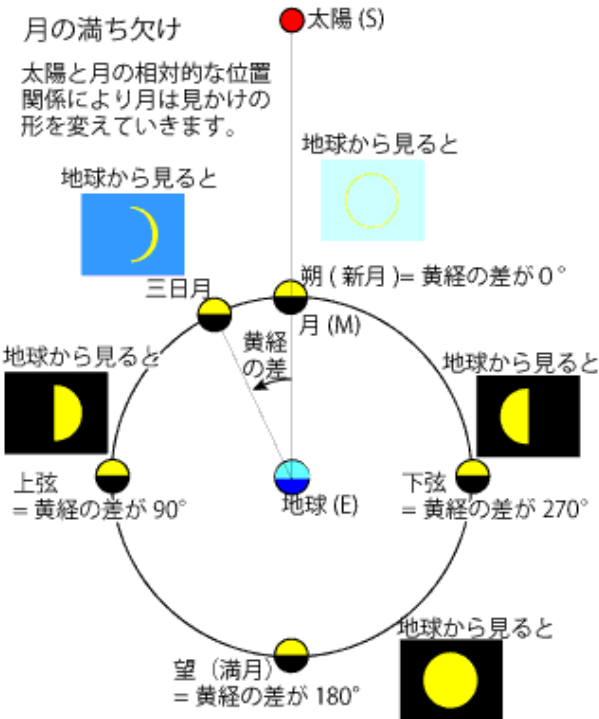
# 2021年9月21日 本日の中秋の名月は満月



名月かならずしも満月ならず  
 太陰太陽暦では新月（朔）を月初めとしました。ゆえに一日＝月立ち（ついたち）であり、それから月の満ち欠け周期の約半分を数える十五日の月は、満月に近く満ちていました。

あくまでも日付で決まる「中秋の名月」は、天文学的に定義される満月（望）と別の日付になることが多いのですが、今年は今朝8時55分に望を迎えたばかり。十五夜の月＝望月（満月）というイメージにふさわしい、ほぼ完全に円い姿の名月です。  
 中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。今年の中秋の名月は満月と同じ日ですが、実は、中秋の名月と満月の日付がずれることは、しばしば起こります（例えば、2024年は、中秋の名月が9月17日、満月が9月18日と日付がずれます）。これは以下の理由のためです。

- ☉ 中秋の名月は太陰太陽暦の日付（新月からの日数）で決まるが、満月（望）は、太陽、地球、月の位置関係で決まる。（下図）
- ☾ 月の公転軌道が楕円形であり、新月（朔）から満月（望）までにかかる日数が13.9日から15.6日と大きく変化する。



## 今後の満月

年	名月	望（満月）
2021年	9月21日	9月21日08時55分
2022年	9月10日	9月10日18時59分
2023年	9月29日	9月29日18時58分
2024年	9月17日	9月18日11時34分
2025年	10月06日	10月07日12時48分
2026年	9月25日	9月27日01時49分
2027年	9月15日	9月16日08時03分
2028年	10月03日	10月04日01時25分
2029年	9月22日	9月23日01時29分
2030年	9月12日	9月12日06時18分

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構  
 国立天文台HPより